

第5日目

平和の主に従う群たち

12月31日 午後11時半

聖アンデレ主教座聖堂

黙想・聖餐

(聖餐式 「主イエス命名の日」)

主教座聖堂活動委員会

黙想 第一部 「平和」

賛歌 古今聖歌集増補版 第34番

す べ て の ひ と よ 主 を た た え よ
Lau - da - te omnes gen - tes, lau - da - te Do - mi - num.

す べ て の ひ と よ 主 を た た え よ
Lau - da - te om - nes gen - tes, lau - da - te Do - mi - num.

すべてのひとよ 主をたたえよ

すべてのひとよ 主をたたえよ (繰り返して歌う)

詩編 第8編

- わたしたちの主、神よ、み名はあまなく世界に輝き その栄光
は天にそびえる
- 幼子と乳飲み子は賛美を歌う 刃向かう者、逆らう者を鎮め
るため、あなたは敵に備えて砦を築かれた

- 3 あなたの指の業の大空を仰ぎ あなたがちりばめた月と星を
眺めて思う
- 4 人とは何者か、なぜ、これにみ心を留められるのか なぜ、人
の子を顧みられるのか
- 5 あなたは人を神に近いものにし 栄えと誉れの冠を授け
- 6 み手の業を治めさせ すべてをその足もとに置かれ
- 7 羊も牛も、野の獣もことごとく 空の鳥、潮路を泳ぐ魚の群れも
- 8 わたしたちの主、神よ み名はあまなく世界に輝く
栄光は 父と子と聖霊に
初めのように、今も 世々に限りなく アーメン

聖書 創世記 1章1～2章3節

¹初めに、神は天地を創造された。²地は混沌であって、闇が深淵の面
にあり、神の霊が水の面を動いていた。³神は言われた。

「光あれ。」

こうして、光があった。⁴神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分
け、⁵光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり朝があった。第一
の日である。

⁶神は言われた。

「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」

⁷神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。その

ようになった。⁸神は大空を天と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第二の日である。

⁹神は言われた。

「天の下の水は一つ所に集まれ。乾いた所が現れよ。」

そのようになった。¹⁰神は乾いた所を地と呼び、水の集まった所を海と呼ばれた。神はこれを見て、良しとされた。¹¹神は言われた。

「地は草を芽生えさせよ。種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける果樹を、地に芽生えさせよ。」

そのようになった。¹²地は草を芽生えさせ、それぞれの種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける木を芽生えさせた。神はこれを見て、良しとされた。¹³夕べがあり、朝があった。第三の日である。

¹⁴神は言われた。

「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、日や年のしるしとなれ。¹⁵天の大空に光る物があって、地を照らせ。」

そのようになった。¹⁶神は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方に昼を治めさせ、小さな方に夜を治めさせられた。¹⁷神はそれらを天の大空に置いて、地を照らせ、¹⁸昼と夜を治めさせ、光と闇を分けさせられた。神はこれを見て、良しとされた。¹⁹夕べがあり、朝があった。第四の日である。

²⁰神は言われた。

「生き物が水の中に群がれ。鳥は地の上、天の大空の面を飛べ。」

21 神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。22 神はそれらのものを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」23 タベがあり、朝があった。第五の日である。

24 神は言われた。

「地は、それぞれの生き物を産み出せ。家畜、這うもの、地の獣をそれぞれに産み出せ。」

そのようになった。25 神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。26 神は言われた。

「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」

27 神は御自分にかたどって人を創造された。

神にかたどって創造された。

男と女に創造された。

28 神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

29 神は言われた。

「見よ、全地に生える、種を持つ草と種を持つ実をつける木を、すべて

あなたたちに与えよう。それがあなたたちの食べ物となる。³⁰地の獣、空の鳥、地を這うものなど、すべて命あるものにはあらゆる青草を食べさせよう。」

そのようになった。³¹神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

^{2:1}天地万物は完成された。²第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。³この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。

祈り

司式者 聖霊よ、おいでください。

世界を新たにしてください。

つくりかえるいのちのあなたから

風と炎を送ってください。

そして今日の世の中に、教会を立ち上がらせてください。

知恵と信仰を与え、私たちが招かれている大きな希望に気づかせてください。

会衆 聖霊よおいでください。世界を新たにしてください。

司式者 いのちの与え主よ、

あなたの創られたものを支えてください。

あなたからの贈り物を貪欲に消費している私たちに

主よ、立ち向かってください。

略奪し、破壊している私たちの歩みの前に

主よ、立ちふさがってください。

生きるものすべて、呼吸するものすべて、存在するものすべてが
支え合う新しい調和に向けて、私たちを招きだしてください。

会衆 **聖霊よおいでください。世界を新たにしてください。**

司式者 真理の聖霊よ、

神の子として立ち上がれるよう私たちを解放してください。

世界の悲嘆の音がきこえるように、

私たちの耳を開いてください。

声なき者の声となれるように、

私たちの口を開いてください

あなたの平和と正義が見えるように、

私たちの口を開いてください。

あなたの預言がもたらす勇気と信仰で

私たちを生きる者としてください。

会衆 **聖霊よおいでください。世界を新たにしてください。**

司式者 一致の聖霊よ、

あなたの民を和解させてください。

教会が真にあなたに立ち帰るため、

必要なものを確保する知恵をお与えください。

あなたの働きのために不要なものを

手放す恵みをお与えください。

私たちの心の小ささを克服できるように

広さと、奥行きと深さをもったヴィジョンをお与えください。

そして砕かれた私たちがひとつになれますように

会衆 **聖霊よおいでください。世界を新たにしてください。**

司式者 聖霊よ

み名によって、この務めに向かえるように

私たちをつくりかえ、清めてください。

聖霊と真理に従う、真にあなたの教会となるために

必要な賜物を与えてください。

(Dorothy McMahan, Pitt Street Parish, Australiaから)

黙想 第二部 「和解」

賛歌 古今聖歌集増補版 第34番

す べ て の ひ と よ 主 を た た え よ
Lau - da - te om - nes gen - tes, lau - da - te Do - mi - num.

す べ て の ひ と よ 主 を た た え よ
Lau - da - te om - nes gen - tes, lau - da - te Do - mi - num.

すべてのひとよ 主をたたえよ

すべてのひとよ 主をたたえよ (繰り返して歌う)

詩編 第34編

- 1 わたしは常に主をたたえ 絶えず賛美を口にする
- 2 わたしの心は主をたたえ 貧しい人もそれを聞いて喜ぶ
- 3 心を合わせて主をあがめ とみにみ名をたたえよう
- 4 わたしが主を求めると、神はたえられ すべての恐れから助

けてくださった

- 5 神を仰げば人の顔は輝き 恥を受けることはない
- 6 苦しむ者が主に叫ぶと、神は聞き 悩みの中から救い出して
くださった
- 7 神を畏れる人の周りには、主のみ使いは陣を敷き 彼らを助
け出してください
- 8 主が恵みに満ちておられることを味わい知れ 神に寄り頼む
人は幸せ
- 9 主の聖徒たちよ、主を畏れよ 神を畏れる人には乏しいにとが
ない
- 10 おごり暮す者は乏しくなり 主を求める人は良いもので満たさ
れる
- 11 民よ、来てわたしに尋ねよ 主を畏れることを教えよう
- 12 命を慕い求める者 幸せな生涯を送ろうとする者はだれか
- 13 舌を制して悪を語らず 偽るために口を開くな
- 14 悪を離れて良い業をなし 心から平和を追い求めよ
- 15 主の注がれる目は正しい人の上に 神は彼らの叫びを聞か
れる
- 16 主のみ顔は悪を行う者に向けられ 彼らの名は地から消され
る
- 17 主は正しい人の叫びを聞き 悩みの中から救ってください

- 18 主は悲しみ嘆く者の近くにおられ 失意の人を支えられる
- 19 正しい人は悩みが多い しかし主はすべての悩みから助け
出される
- 20 神は彼らの骨をことごとく守り その一つさえ砕かれることは
ない
- 21 正しい人を憎む者は罪に定められ 悪人は悪で身を滅ぼす
- 22 主は神に仕える人を贖い 主に寄り頼む者を滅びから救わ
れる
- 栄光は 父と子と聖霊に
初めのように、今も 世々に限りなく アーメン

聖書 エフェソの信徒への手紙 第2章14～22節

¹⁴実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、¹⁵規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、¹⁶十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。¹⁷キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにもまた、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。¹⁸それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。¹⁹従って、あなたがたは今は

や、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、²⁰使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリストイエス御自身であり、²¹キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。²²キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

祈り

司式者 主なる神よあなたは聖霊を送り、すべてのものを新しくしてください。聖霊の導きを祈り求めましょう。

主なる神よあなたはキリストの教会が聖霊のみちびきのものと一つの体となるように召され、導いておられます。どうか、私たちを平和のきずなで結び合わせ、あなたの愛の器として用いてください。

会衆 **主よ、聖霊の導きによって アーメン**

司式者 使徒たちからの唯一の信仰を告白し、救い主キリストの体と血によって養われる私たちを、聖霊の力によって強め、主のよみがえりの証人とならせてください。

会衆 **主よ、聖霊の導きによって アーメン**

司式者 この世に、今もなおある様々な対立や分裂による痛みを、聖霊の働きによって癒し、お互いの理解と信頼とによって、一

致を築くことができますように。

会衆 **主よ、聖霊の導きによって アーメン**

司式者 あなたに招かれているすべての人々に、聖霊を注ぎ、世の罪をのぞき、心の闇を照らして、まことの平和と正義へと導いてください。

会衆 **主よ、これらの祈りを聖霊の導きによって アーメン**

しばらく沈黙のうちに、黙想する。

聖歌 古今聖歌集 第347番

1 イエスキみの み名に まさる 名は なし

みかみの みこころ 世に あらわせり

(おりかえし)

「わがきみ イエスよ」と

よるこび うとう

とうとき み名こそ

たくいも なけれ

2 いと たかき かみの み子に いませど

世を すくう ゆえに 「イエス」とは呼びぬ

(おりかえし)

3 すくい の 十字架に かけし み名を

よるずの くにたみ いま なお あいす

(おりかえし)

4 ちちなる みかみの みぎに のぼりて

み世しらす イエスの みいつ かしこし

(おりかえし)

SWEETEST NAME
William B. Bradbury, 1841

252-257

は スキミの みなに まさる なは な し み か ん の み
こ こ り 上 に あ ら わ せ り お が き 五 十 三 五 十 三 五 十 三 五 十 三
と う と う と き み な こ そ た ぐ い も な け れ アー ン

There is no name so sweet as with
George W. Bethune, 1818.

福音書

朗読者 主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

朗読者 聖ルカによる福音書第2章15節以下に記された主イエスキリストの福音。主に栄光

会衆 **主に栄光がありますように**

¹⁵天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。¹⁶そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。¹⁷その光景を見て、羊飼いた

ちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。
18聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。19しかし、マリア
はこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20羊飼
いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神を
あがめ、賛美しながら帰って行った。21八日たって割礼の日を迎えた
とき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から
示された名である。

朗読者 主に感謝

会衆 主に感謝します

説教 司祭 竹内 謙太郎

ニケヤ信経

一同立つ。

わたしたちは、唯一の神・全能の父・天地とすべて見えるものと見
えないものの造り主を信じます。

また、世々の先に父から生まれた独り子、主イエス・キリストを信しま
す。主は神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造
られず、生まれ、父と一体です。すべてのものは主によって造られま
した。主はわたしたち人類のため、またわたしたちを救うために天か

ら降り、聖霊によっておとめマリヤから肉体を受け、人となり、ポンテオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、死んで葬られ、聖書にあるとおり三日目によみがえり、天に昇り、父の右に座しておられます。また、生きている人と死んだ人とを審くため、栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。

また、主なる聖霊を信じます。聖霊は命の与え主、父と子から出られ、父と子とともに拝みあがめられ、預言者によって語られた主です。また、使徒たちからの唯一の聖なる公会を信じます。罪の赦しのための唯一の洗礼を信認し、死者のよみがえりと来世の命を待ち望みます アーメン

代 禱

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

ここで「のために黙祷しましょう」と言って、感謝と代禱の題目をあげ、会衆に黙祷を求めてもよい。また、会衆に感謝と代禱の題目を求めてもよい。黙祷に代えて祈禱書中の適当な祈りを用いてもよい。

「ことに」の後に適当な名前をあげてもよい。

執事 神よ、主の公会(ことに)を強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒(ことにわたしたちの主教)を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 **主よ、お聞きください**

執事 神よ、すべての国(ことに)の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 **主よ、お聞きください**

執事 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人(ことに)に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 **主よ、お聞きください**

執事 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと(ことに)を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、主の救いの喜びに導いてください

会衆 **主よ、お聞きください**

執事 神よ、世を去ったすべての人(ことに)を顧み、かれらの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主のあかしびとたちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わり

を保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください
一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願い
いたします アーメン

聖 餐

平和の挨拶

司祭 主の平和が皆さんとともに
会衆 また、あなたとともに
司祭 平和のあいさつをかわしましょう

ここで、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わす。

奉 献

ここで次の言葉を歌いまたは唱える

執事または司祭 み名にふさわしい栄光を主に歸し、供え物を献げ
ましょう
司祭 全地はあなたを拝み、あなたをほめ歌い、み名をほめ歌うで
あろう。すべて神を畏れる者は来て聞きなさい。神がわたし
のためになされたことを告げる。

聖歌 古今聖歌集 第25番

- 1 かみの みこ みさかえと
みくらを はなれ
むらざとに あれまして
すまい なかき
(おしかえし)
主よ わが ころに
やどらせ たまえ
- 2 みそら にて たたえごと
たえず うれど
いと ひき すがた にて
世に あらわれぬ
(おしかえし)
- 3 いのち をば よの ひとに
あたえ たまえど
世の ひとに すれられて
きに あげられぬ
(おしかえし)
- 4 みつかいを したがえて
き たもう ときに
われを 召し みすまいに
やどらしめてよ
われは 主と とともに
つねに 住ま まし

かみのみこみさかえとみく

らをはなれひらさとにあれ

ましてすまいなかりきしよぶがこ

らにやどらせたまえアーメン

信施はここで集め、会衆の代表者は、パンとぶどう酒および信施を司祭に渡す。司祭はこれをお供えするとき、次の祈りを用いる。会衆の言葉は歌ってもよい。

司祭 全能の父なる神よこの「信施」供え物を受け、主のみ業のために用いてください

会衆 **すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に
献げたのです アーメン**（歴代上29:14）

会衆はひざまずく。

感謝聖別

司祭 主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

司祭 心を神に

会衆 **主に心を献げます**

司祭 主なる神に感謝しましょう

会衆 **感謝と賛美はわたしたちの務めです**

司祭 聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いどこにおいても、み子イエス・キリストによって、主に感謝し、主を賛美するのは、正しく喜ばしいことです。

み子は、父の生きたみ言です。父はみ子によって

永遠の初めから万物を造り、みかたちに似せてわたしたちを造られました。

ことに、独りのみ子イエス・キリストは、わたしたちと同じ肉体をとって栄光を現されました。これは全ての人を闇と惑いの中から導き、主のみ光に浴させるためです。

ゆえにわたしたちは、み使いとみ使いの頭および天の全会衆とともに、主の尊いみ名をあげ、常に主をたたえて歌います

一同次の言葉を歌いまたは唱える。

**聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神
主の栄光は天地に満つ
いと高きところにホサナ**

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

**ほめたたえよ、主のみ名によって来られる方を
いと高きところにホサナ**

司祭 天の父よ、救い主・み子イエス・キリストによってわたしたちの感謝・賛美をお受けください。わたしたちはみ子の模範にならない、そのみ定めに従ってこの聖奠を行います。どうかみ言葉と聖霊により、主の賜物であるこのパンとぶどう酒を祝し、聖として、わたしたちのためにみ子の尊い体と血にしてください。

主イエスは渡される夜、パンを取り、感謝してこれを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与えるわたしの体です。わたしを記念

するため、このように行いなさい」

また食事の後、杯を取り、感謝して彼らに与えて言われました。「皆この杯から飲みなさい、これは罪の赦しを得させるようにと、あなたがたおよび多くの人のために流すわたしの新しい契約の血です。飲むたびにわたしの記念としてこのように行いなさい」

一同 **キリストは死に**

キリストはよみがえり

キリストは再び来られます

司祭 天の父よわたしたちはこのパンとこの杯によって、み子がただ一たび献げられた十字架の犠牲を記念し、栄光ある復活・昇天を宣言し、み子が再び来られるまでこの祭を行います。

どうかこの感謝・賛美のいけにえを天の祭壇に至らせ、大祭司であるみ子によってお受けください。

み前でこの聖なる賜物にあずかる時、わたしたちを聖霊によって新たにし、主の愛によって生かし、み子イエス・キリストの体である教会のうちに結び合わせ、天の全会衆とともにみ名をあげさせてください

一同 **わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めまた思うところの一切を、はるかに越えてかなえてくださること**

ができる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、
栄光が世々に限りなくありますように アーメン

(エペソ3:20、21)

ここでしばらく黙祷してもよい。

陪 餐

司祭は次の言葉を歌いまたは唱える。

司祭 救い主キリストが教えられたように祈りましょう

一同主の祈りを歌いまたは唱える。

(聖公会 ローマカトリック共通訳)

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱える

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン

司祭はパンを裂く。そのとき、次のように言う

司祭 わたしたちがパンを裂くとき

会衆 **キリストの体にあずかります**（エペソ5:16）

司祭 パンが一つであるから

会衆 **わたしたちは多くいても、一つの体です**（エペソ5:17）

一同次の祈りを唱えてもよい

憐れみ深い主よ、わたしたちは自分のいさおに頼らず、ただ主の憐れみを信じてみ机のもとに参りました。わたしたちは、み机から落ちるくずを拾うにも足りない者ですが、主は変わることなく常に養ってくださいます。恵み深い主よ、どうかわたしたちが、み子イエス・キリストの肉を食し、その血を飲み、罪あるわたしたちの体と魂が、キリストの尊い体と血によって清められ、わたしたちは常にキリストにおり、キリストは常にわたしたちにおられますように アーメン

続いて次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

世の罪を除く神の小羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の小羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の小羊よ、主の平安をお与えください

司祭とほかの受聖餐者は陪餐する。分餐のとき、おののちに次のように言い、陪餐者は「アーメン」と言う。

あなたのために与えられた主イエス・キリストの体

アーメン

あなたのために流された主イエス・キリストの血

アーメン

陪餐のときに、陪餐唱または聖歌を用いてもよい。当日の旧約聖書、使徒書、福音書の中の適当な言葉を陪餐唱として用いてもよい。聖品が尽きたときは、再度の感謝聖別の式文を用い、残ったときは、その場で慎んで飲食してしまう。続いて司祭は言う。

司祭 祈りましょう

一同次の祈りを唱える

永遠にいます全能の神よ、この聖奠にあずかった者を、み子イエス・キリストの尊い体と血をもって、養ってくださることを感謝します。主はこれによって、わたしたちがみ子の体のえだであり、み国の世継ぎであることをいよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、わたし

私たちはみ子によって、心も体も生きた供え物として献げます。どうか、聖霊によってわたしたちをこの世に遣わし、み旨を行う者とならせてください。栄光は世々に限りなく、父と子と聖霊にありますように **アーメン**

主教は次の言葉を用いて会衆を祝福する。

父と子と聖霊なる全能の神の恵みが、常に皆さんとともにありますように **アーメン**

一同、立って次の唱和を用いる。

執事または司祭 **ハレルヤ、主とともに行きましょう**
会衆 **ハレルヤ 主のみ名によって アーメン**

聖歌 古今聖歌集 第20番

- 1 みつかいの 主なる おおきみ
世に あれませり わがともよ
うたいつつ ダビデのむらに
きたりて おがめ キリストぞ
- 2 しずの めのいやしかるをも
いとわで やどる かみのみ子
ひかり より いでし ひかりを
きたりて おがめ キリストぞ

(中々ほやめに)

1774-1775

ADISTE FIDELIS
John F. Wade, *Centos Olden.* 1774

みつかいのしなるおきみよにあれませりわ
がともようたいつつざびだのむらにきたりて
がめきたりておがめきたりておがめキリストぞアーメン

Adiste Fidelis *Latin* *triumphant*
Latin Hymn, 17th century

- 3 「いたかき あめなる かみに
みさかえ あれとほめ たたえ
こえ あげてみつかい うとう
きたりて おがめ キリストぞ
- 4 うち つどいこの日を いわえ
かみの みことば ひととなり
きょうまれ 世にあらわれぬ
きたりて おがめ キリストぞ